

## addCad 更新プログラムで新たに追加されたコマンド

### adds\_GuideLine [下書き線]

構築線または放射線で下書き線を作成します。

#### アクセス方法

ボタン: 

リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]

コマンド入力: adds\_GuideLine

ボタンの詳細は、各コマンドを参照してください。

解説:

「下書き線タイプ」ドロップダウンまたは adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

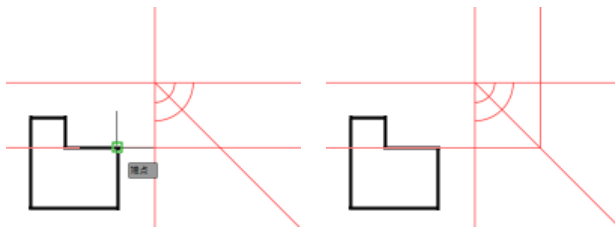
作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)



手順:

1. [下書き線]ボタンをクリックします。
2. 「下書き線タイプ」で構築線または放射線を指定します。
3. 作成する下書き線のボタンをクリックします。
4. コマンドラインのプロンプトに従って操作します。(下書き線ごとに手順・終了方法が異なります)

作図例:



投影=オン構築線 [水平]の場合

## adds\_GuideLineA [自動下書き線]

選択されたオブジェクトのすべての端点に垂直および水平の下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[自動下書き線]

[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[自動下書き線]

コマンド入力: adds\_GuideLineA

オブジェクトを選択:

解説:

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)



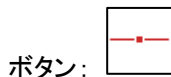
手順:

1. [自動下書き線]ボタンをクリックします。
2. 下書き線の方向を指定します。
3. 下書き線を作図するオブジェクト(円、円弧、ブロック、線分、ポリライン)を選択します。

## adds\_GuideLine\_HOR [下書き線－水平]

水平な下書き線を作成します。

### アクセス方法



ボタン:

リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[水平]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[水平]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_HOR

- 構築線 挿入点を指定 :
- 放射線 挿入点を指定 または [180 度回転(D)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

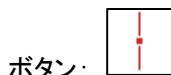
手順:

1. [水平]ボタンをクリックします。
2. 放射線で向きを変更する場合は[180 度回転(D)] オプションを指定します
3. 下書き線の挿入点を指定します。
4. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_VER [下書き線－垂直]

垂直な下書き線を作成します。

### アクセス方法



ボタン:

リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[垂直]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[垂直]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_VER

- 構築線 挿入点を指定 :
- 放射線 挿入点を指定 または [180 度回転(D)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

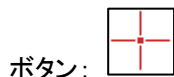
手順:

1. [垂直]ボタンをクリックします。
2. 放射線で向きを変更する場合は[180 度回転(D)] オプションを指定します
3. 下書き線の挿入点を指定します。
4. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_CRS [下書き線—十字]

交差した 2 本の下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[十字]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[十字]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_CRS

- 構築線 挿入点を指定 :
- 放射線 挿入点を指定または[1番目の四半円点(FI)/2番目(S)/3番目(T)/4番目(FO)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

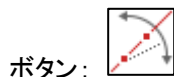
手順:

1. [十字]ボタンをクリックします。
2. 放射線で向きを変更する場合は[1番目の四半円点(FI)/2番目(S)/3番目(T)/4番目(FO)] オプションを指定します
3. 下書き線の挿入点を指定します。
4. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_HB [下書き線—2点 または 角度]

2 つの点または 1 つの点と角度を指定して、下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[2点 または 角度]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[2点 または 角度]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_HB

- 1 点目を指定:
- 2 点目 または [角度(A)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

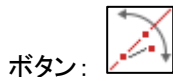
手順:

1. [2 点 または 角度]ボタンをクリックします。
2. 1 点目を指定します。
3. 2 点目を指定するかまたは [角度(A)] オプションで角度を入力します。
4. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_HW [下書き線—線に相対する角度]

1 点を通過する仮想線を基準として、相対角度(水平からの角度)を指定して、この点を通過する下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[線に相対する角度]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[線に相対する角度]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_HW

1 点目を指定:

基準角度を指定:

相対角度の 2 点目 または [角度(A)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

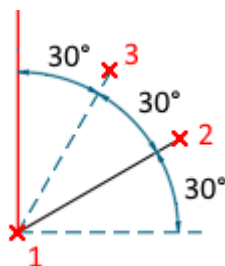
adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

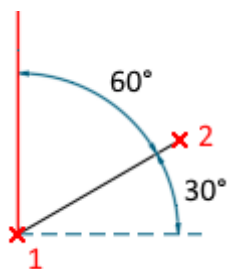
UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

1. [線に相対する角度]ボタンをクリックします。
2. 基点となる 1 点目(点 1)を指定します。
3. 基準角度となる点(点 2)を指定します。
4. 相対角度となる点(点 3)を指定するかまたは [角度(A)] オプションで角度を入力します。
5. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



相対角度となる点(水平からの角度「60」となる点)を指定

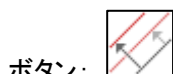


[角度(A)] オプション「60」

## adds\_GuideLine\_PAR [下書き線－距離指定平行線]

選択した線分からの指定した距離に、選択した線分に平行な下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[距離指定平行線]  
 [線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[距離指定平行線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_PAR

線分、放射線 または 構築線 を選択:

挿入点 または [距離(D)]:

解説:

基点は作図した

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

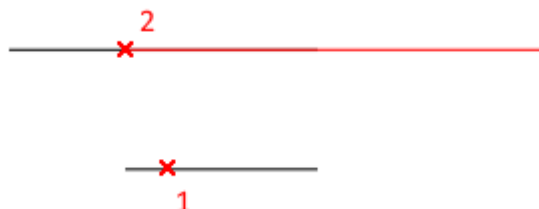
adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

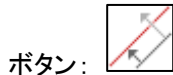
1. [距離指定平行線]ボタンをクリックします。
2. 基準となるオブジェクト(線分、放射線、構築線)を選択(点 1)します。
3. 下書き線の位置を指定(点 2)するかまたは[距離(D)] オプションで距離を入力し、オフセット方向を指示します。
4. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_PAR2 [下書き線－1/2 距離指定平行線]

選択した線分に平行な下書き線を、指定した値の半分の距離で作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[1/2 距離指定平行線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[1/2 距離指定平行線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_PAR2

線分、放射線 または 構築線 を選択:

挿入点 または [距離(D)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

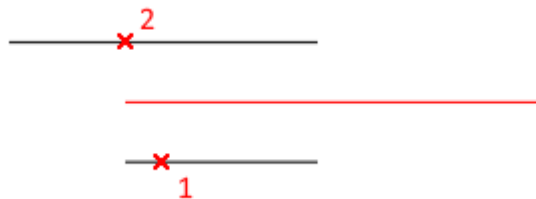
adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

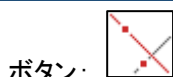
1. [1/2 距離指定平行線]ボタンをクリックします。
2. 基準となるオブジェクト(線分、放射線、構築線)を選択(点 1)します。
3. 下書き線の位置を指定(点 2)するかまたは[距離(D)] オプションで距離を入力し、オフセット方向を指示します。
4. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_LOT [下書き線一線に垂直]

指定した線分に垂直な下書き線を作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[線に垂直]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[線に垂直]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_LOT

線分、放射線 または 構築線 を選択:

挿入点を指定:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

1. [線に垂直]ボタンをクリックします。
2. 基準となるオブジェクト(線分、放射線、構築線)を選択(点 1)します。
3. 下書き線の位置(点 2)を指定します。
4. [Esc]キーまたは右クリックでコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_LOT2 [下書き線-2 点に垂直]

別の点または角度で指定した方向に垂直であり、指定した点を通る下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[2 点に垂直]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[2 点に垂直]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_LOT2

垂線の基点を指定:

2 点目 または [角度(A)]:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

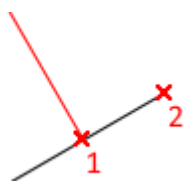
adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

1. [2 点に垂直]ボタンをクリックします。
2. 下書き線の基点(点 1)を指定します。
3. 下書き線の 2 点目(点 2)を指定するかまたは [角度(A)] オプションで角度を入力します。
4. [Esc]キーまたは右クリックでコマンドを終了します。

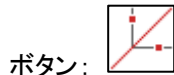




## adds\_GuideLine\_HM [下書き線—2 等分線]

角度を 2 等分する下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[2 等分線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[2 等分線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_HM

- 1 番目の線分・放射線・構築線を選択 または [頂点(V)]:
- 2 番目の線分・放射線・構築線を選択:

解説:

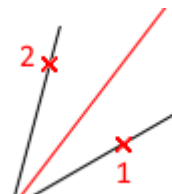
adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

adds\_GuideLineP[投影 オン/オフ]コマンドで投影「オン」に設定すると投影線で下書き線をトリム、追加します。

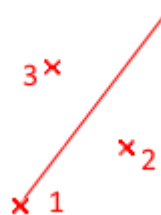
作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

1. [2 等分線]ボタンをクリックします。
2. 2 つのオブジェクト(線分、放射線、構築線)を選択するかまたは [頂点(V)]オプションで 3 点(頂点、頂点からの角度の 1 点目と 2 点目)を指定します。
3. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



オブジェクト(線分)を選択



[頂点(V)]オプション

## adds\_GuideLine\_C [下書き線—円]

下書き円を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[円]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[円]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_HM

中心点を指定:

円の半径を指定 または [直径(D)]:

解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

1. [円]ボタンをクリックします。
2. 中心点を指定します。
3. 円の半径を指定するかまたは [直径(D)] オプションで直径を指定します。
4. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_TAN [下書き線－接線]

指定した円に接する平行な下書き線を 2 本作成します。

### アクセス方法

ボタン: 

リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[接線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[接線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_TAN

円 または 円弧 を選択:

通過点 または [角度(A)]:

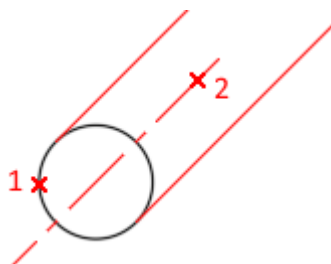
解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

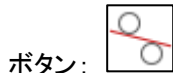
1. [接線]ボタンをクリックします。
2. オブジェクト(円、円弧)を選択(点 1)します。
3. 下書き線の通過点(点 2)を指定するかまたは [角度(A)]オプションで角度を指定します。
4. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_TC [下書き線－2 円接線]

2 つの指定した円または円弧に接する下書き線を作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[2 円接線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[2 円接線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_TC

1 点目を指定: TAN どこに

次の点を指定 または [元に戻す(U)]: TAN どこに

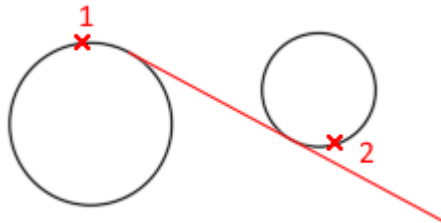
解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

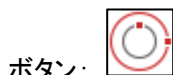
1. [2 円接線]ボタンをクリックします。
2. 円または円弧上の暫定接線 1 点目(点 1)を指定します。
3. 暫定接線 2 点目(点 2)を指定します。
4. [Esc]キーでコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_CC [下書き線—同心円]

指定した円と同心の下書き円を作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[同心円]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[同心円]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_CC

円 または 円弧 を選択:

通過点 または [直径(D)]:

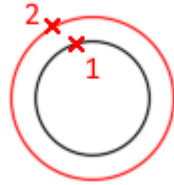
解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

UCS がワールドでない場合、正しく作図できません。

手順:

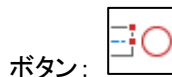
1. [同心円]ボタンをクリックします。
2. 基準となるオブジェクト(円、円弧)を選択(点 1)します。
3. 円の半径となる点(点 2)を指定するか、半径または [直径(D)] オプションで直径を指定します。
4. [Esc]キーまたは右クリック「キャンセル」でコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_CSF [下書き線—シャフト端に円を作成]

シャフトまたは穴の上面ビューを表す下書き円を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[シャフト端に円を作成]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[シャフト端に円を作成]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_CSF

中心線の始点を指定:

中心線の終点を指定:

側面図の穴の輪郭点を指定:

挿入点を指定:

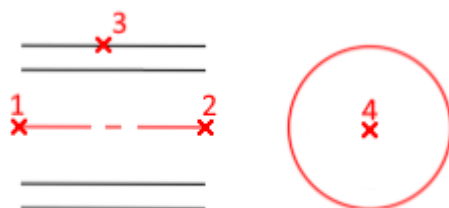
解説:

下書き円の半径は、指示した中心線に対して垂直な長さで作成されます。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

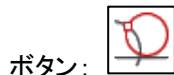
1. [シャフト端に円を作成]ボタンをクリックします。
2. 中心線の始点(点 1)と終点(点 2)を指定します。
3. シャフトまたは穴の輪郭線上の点(点 3)を指定します。
4. 下書き円の挿入点(点 4)を指定します。
5. [Esc]キーまたは右クリックでコマンドを終了します。



## adds\_GuideLine\_C2 [下書き線—線に接する円]

指定した線分に接する下書き円を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[線に接する円]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[線に接する円]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_C2

線分、放射線 または 構築線 を選択:

円の通過点を指定:

半径を指定 <500.0>:

解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

1. [線に接する円]ボタンをクリックします。
2. 円に接するオブジェクト(線分、放射線、構築線)を指定します。
3. 円の通過点を指定します。
4. 下書き円の半径を指定します。
5. [Esc]キーまたは右クリックでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_KR [下書き線—2本の線に接する円]

2つの指定した線分または円に接する下書き円を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[2本の線に接する円]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[2本の線に接する円]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_KR

円の第1の接線に対するオブジェクト上の点を指定:

円の第2の接線に対するオブジェクト上の点を指定:

円の半径を指定 <300.0>:

解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

1. [2本の線に接する円]ボタンをクリックします。
2. 円に接する2つのオブジェクトを指定します。
3. 下書き円の半径を指定します。

4. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_CSQ [下書き線—円に対する長方形]

円または円弧の周りに長方形の下書き線を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[下書き線、円]→[円に対する長方形]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線、円]→[円に対する長方形]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_CSQ

円 または 円弧 を選択:

解説:

作図画層: GuideLine (色番号 1: 線種 Continuous)

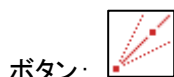
手順:

1. [円に対する長方形]ボタンをクリックします。
2. 下書き線で囲む円または円弧を指定します。
3. [Esc]キーまたは右クリックでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_XRAY [下書き線—指定点を通る放射線]

単一点から開始する複数の下書き線(放射線)を作成します。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[指定点を通る放射線]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[指定点を通る放射線]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_XRAY

基点を指定:

通過点を指定:

解説:

作図画層: GuideLine (色番号 1: 線種 Continuous)

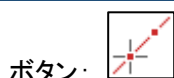
手順:

1. [指定点を通る放射線]ボタンをクリックします。
2. 下書き線の基点、通過点を指定します。
3. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_XLINE [下書き線—指定点を通る線分]

単一点から開始する複数の下書き線(構築線)を作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[指定点を通る線分]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[指定点を通る線分]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_XLINE

基点を指定:

通過点を指定:

解説:

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

手順:

1. [指定点を通る線分]ボタンをクリックします。
2. 下書き線の基点、通過点を指定します。
3. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLine\_Z [下書き線-Z 方向]

Z 軸に沿って下書き線を作成します。

## アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]→[下書き線]→[Z 方向]  
[線・円]→[下書き線]→[下書き線]→[Z 方向]

コマンド入力: adds\_GuideLine\_Z

挿入点を指定:

解説:

adds\_GuideLineType [タイプを切り替え]コマンドで構築線/放射線の切り替えができます。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

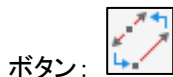
手順:

1. [Z 方向]ボタンをクリックします。
2. 下書き線の挿入点を指定します。
3. [Esc]キーでコマンドを終了します。

## adds\_GuideLineType [下書き線-タイプ (構築線/放射線) を切り替え]

放射線モードのオン/オフを切り替えます。

## アクセス方法



ボタン:

リボン: [線・円]→[下書き線]→[放射線モード]

コマンド入力: adds\_GuideLineType

下書き線タイプを 放射線 に変更しました

解説:

作図する下書き線のタイプ(構築線/放射線)を切り替えます。

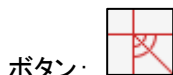
手順:

1. [放射線モード]ボタンをクリックします。

## adds\_GuideLineP [下書き線—投影 オン/オフ]

投影図を作成(下書きをトリム、追加)できるようにする投影線(ブロック)を挿入します。

### アクセス方法



ボタン:

リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[投影 オン/オフ]

[線・円]→[下書き線]スライドアウト→[投影 オン/オフ]

コマンド入力: adds\_GuideLineP

挿入位置を指定:

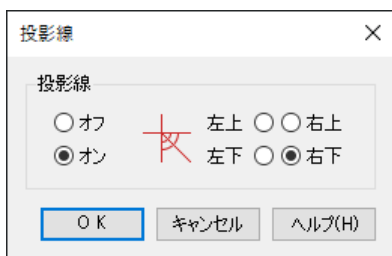
解説:

回転方向を指定して投影線(ブロック)を挿入し、オンとオフを切り替えます。

すでに投影線(ブロック)のある図面には配置できません。

投影線(ブロック)挿入後に回転角度(左上・右上・左下・右下)を変更する場合は、投影線(ブロック)を選択してプロパティパレットの「回転角度」を変更します。「0」「90」「180」「270」以外の角度を指定すると正しく投影できません。

作図画層: GuideLine(色番号 1:線種 Continuous)

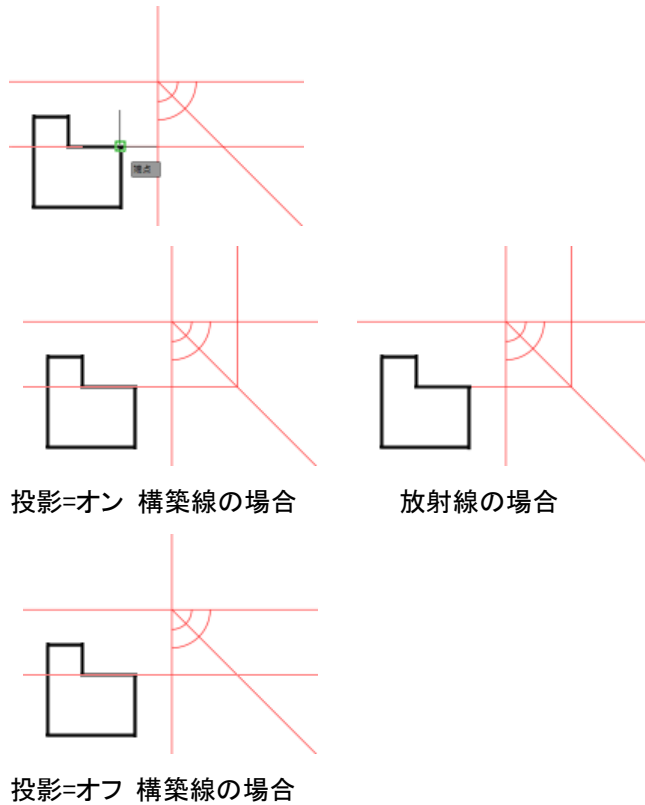


手順:

1. [投影 オン/オフ]ボタンをクリックします。
2. 投影 のオン/オフを指定します。
3. 投影線の回転方向を指定します。
4. [OK]ボタンをクリックして、投影線の挿入位置を指定します。

作図例:

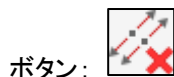




## adds\_GuideLineDelAll [下書き線—すべて削除]

すべての下書き線を削除します。

### アクセス方法



リボン: [線・円]→[下書き線]→[下書き線を削除]

コマンド入力: adds\_GuideLineDelAll

31 の下書き線を削除しました

解説:

「GuideLine」画層のオブジェクトをすべて削除します。

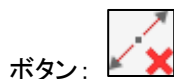
手順:

1. [下書き線を削除]ボタンをクリックします。

## adds\_GuideLineDel [下書き線—削除]

選択された下書き線を削除します。

### アクセス方法



リボン: [線・円]→[下書き線]→[下書き線を削除]→[選択]

コマンド入力: adds\_GuideLineDel

最初のコーナーを指定:

もう一方のコーナーを指定:

解説:

交差選択した範囲内にある「GuideLine」画層のオブジェクトを削除します。

手順:

1. [選択]ボタンをクリックします。
2. 2点を指定して交差選択します。

## adds\_GuideLineLock [下書き線ーロック/ロック解除]

下書き線画層「GuideLine」をロックまたはロック解除します。

### アクセス方法



リボン: [線・円]→[下書き線]スライドアウト→[ロック/ロック解除]

コマンド入力: adds\_GuideLineLock

下書き線画層 'GuideLine' をロックしました

解説:

「GuideLine」画層をロックまたはロック解除します。

手順:

1. [ロック/ロック解除]ボタンをクリックします。

## adds\_OutLine1 [輪郭線ー外側]

閉じた領域の外側輪郭線をトレースします。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[輪郭外側]

[線・円]→[下書き線]→[輪郭外側]

コマンド入力: adds\_OutLine1

オブジェクトを選択 (Enter で終了):

解説:

輪郭作成用に選択されたオブジェクトの外側(システム変数 DIMSCALE の値を使用)に仮の境界線を作図します。システム変数 DIMSCALE の値により正しく動作しないことがあります。

UNDO[元に戻す]コマンドを使用する場合は、「後退(B)」オプションでコマンド実行時に戻ります。

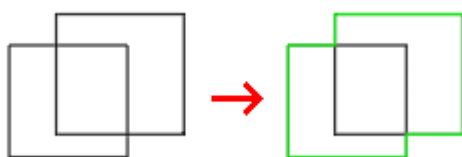
作図画層: OutLine(色番号 3:線種 Continuous)

作図補助用の「OutLineDmy」画層が作成されます。

手順:

1. [輪郭外側]ボタンをクリックします。
2. トレースする領域の境界となるオブジェクトを選択します。

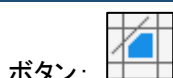
作図例:



## adds\_OutLine2 [輪郭線－内側]

囲まれた領域の内側輪郭線をトレースします。

### アクセス方法



リボン: [adds]→[作図]スライドアウト→[輪郭内側]  
[線・円]→[下書き線]→[輪郭内側]

コマンド入力: adds\_OutLine2

内側の点を指示 または [オブジェクトを選択(S)]

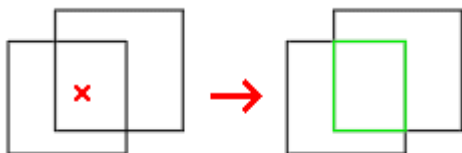
解説:

作図画層: OutLine(色番号 3:線種 Continuous)  
作図補助用の「OutLineDmy」画層が作成されます。

手順:

1. [輪郭内側]ボタンをクリックします。
2. トレースする領域の境界の内側の点を指示します。  
※ [オブジェクトを選択(S)]オプションは使用できません

作図例:



## adds\_OutLineShow [輪郭線－前面に表示]

下書き線に隠れている輪郭線を表示します。

### アクセス方法



リボン: [線・円]→[下書き線]スライドアウト→[輪郭を表示]

コマンド入力: adds\_OutLineShow

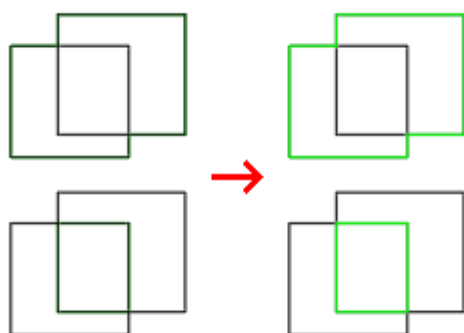
輪郭線を選択:

解説:

選択されたオブジェクトの中の「OutLine」画層のオブジェクトを最前面に表示します。

手順:

1. [輪郭を表示]ボタンをクリックします。
- 2.重なっている下書き線と輪郭線を選択します。



## adds\_AttSelect [属性値を指定して選択]

検索する属性の値を指定してブロックを選択します。

### アクセス方法



ボタン:

リボン: [adds]→[編集]→[選択]→[属性値を指定して選択]

コマンド入力: adds\_AttSelect

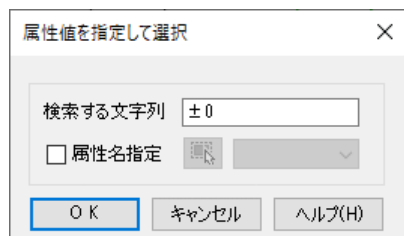
検索するブロックを選択:

認識された数: 9

3 ブロックが選択されました

解説:

指定した文字列と一致する属性の値を持つブロックを選択します。



「属性名指定」にチェックを入れ、属性名を指定して選択することもできます。

属性値を指定して選択

検索する文字列

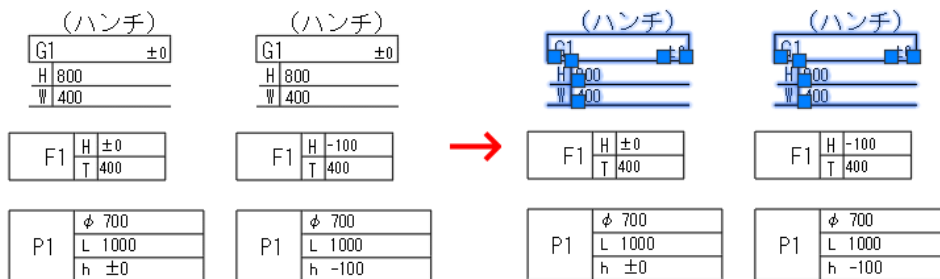
属性名指定  梁天レベル

手順:

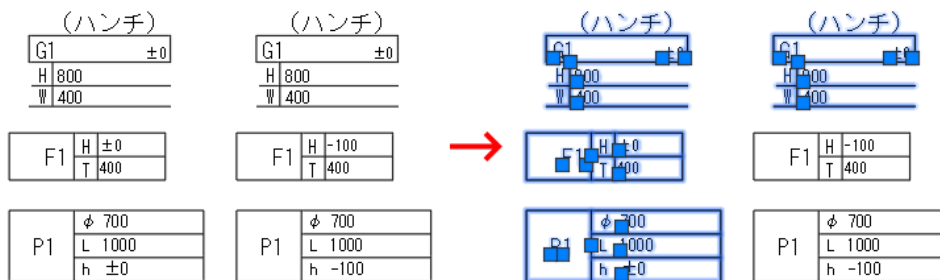
1. 「属性値を指定して選択」ボタンをクリックします。
2. 「属性名を指定」にチェックを入れ、 ボタンをクリックして目的の属性の登録されたブロックを選択します。
3. 選択したブロックに定義されている属性名リストから目的の属性名を選びます。
4. 検索する文字列を指定して、ブロックを選択します。

使用例:

検索する文字列「±0」属性名「梁天レベル」を指定した場合



検索する文字列「±0」属性名を指定しない場合



## addCad 更新プログラムによって改善されたコマンド・機能

### 雲マーク

コマンド名: Revcloud

リボン: [adds]タブー[作図]パネル/[線・円]タブー[ポリライン]パネル

正しく動作しないマクロを修正しました。

### 寸法書式の変更

コマンド名: addS\_CHGDIM

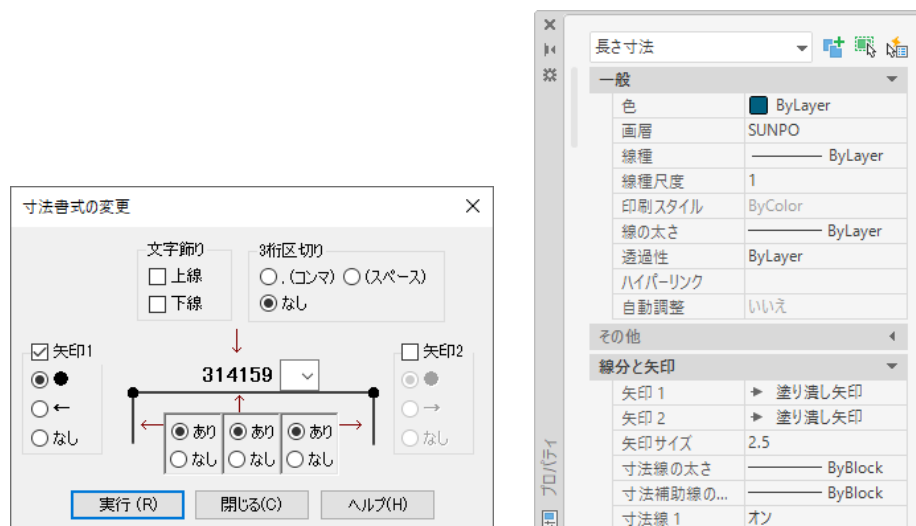
リボン: [寸法]タブー[寸法編集]パネル

「矢印 1」「矢印 2」チェックボックスを追加しました。

プロパティパレットの「線分と矢印」の「矢印 1」「矢印 2」の設定を変更します。

選択した寸法スタイルの設定により、矢印の片側のみの変更ができない場合があります。

addCad の「adds\_YuG.dwt」テンプレートなどの寸法スタイルをご利用ください。



### 間仕切り壁作図

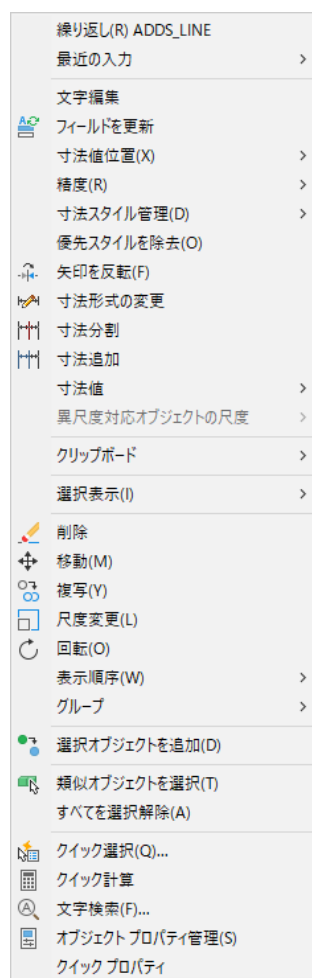
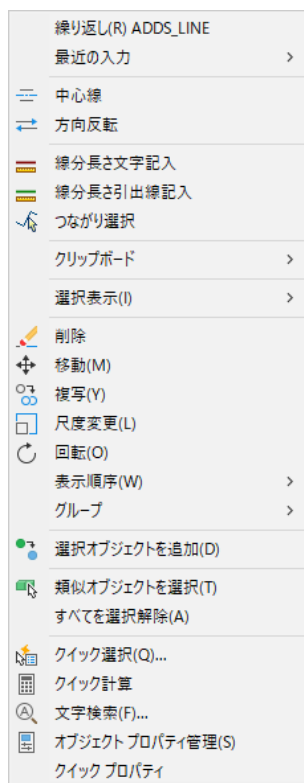
コマンド名: addA\_PWALL

リボン: [建築]タブー[壁]パネル

「内部材」を「仕上 3」画層で作図するバグを修正しました。

### 右クリックショートカットメニュー

「線分」「寸法」など特定のオブジェクトを選択し、右クリックしたときに表示されるメニューに addCad のコマンドが表示されるよう修正しました。



## addCad 更新プログラムによって廃止されたコマンド

### 一点分割

コマンド名： ADDS\_BREAKSINGLEPNT

トリム(Trim)コマンドが改善され、境界線間の削除がかんたんになったため廃止しました。

## addCad 更新プログラムでのヘルプの改善

addCad 24 用のヘルプを更新しました。

一部 addCad 23 では、実行できない AutoCAD の標準コマンド、3D コマンドのヘルプが含まれます。ご注意ください。

- エラーで表示されないページを修正しました。

- PDF ファイル(約 800 ページ)を作成しました。

C:\Program Files\AddSekkei\addCad 24\Help\addCad\_HELP.pdf

C:\Program Files\AddSekkei\addCad 23\Help\addCad\_HELP.pdf